



写真1 市ヶ谷橋

近隣史跡の紹介

市ヶ谷橋

市ヶ谷橋は、市ヶ谷駅交差点の靖国通りとお濠を越えた新宿区の外堀通りを結ぶ橋で、JR総武線の線路を跨ぐかたちで架かっています。橋の東側にはTVドラマの撮影でよく使われる釣り堀があり、また、周辺には防衛省や大学があるなど、多くの人が行き交っています。

橋は、寛永13年(1636年)に始まった外堀の開削工事から同16年に修築された市ヶ谷門(市ヶ谷駅前にあった城郭の要所に置かれた升形(ますがた)のある見附門)のころの寛永年間に架けられたといわれています。現在の橋は、昭和2年(1927年)の関東大震災後の復興事業に伴い架設された、長さ36.4m、幅15.6mのコンクリート橋です。一見するとお濠に架かる60mほどの長い橋に見えますが、長さの相違は、その半分ほどが堰としての役目を持っている橋台のためで、横から眺めると一目瞭然です。

市ヶ谷門は明治4年(1871年)に道路拡張のため撤去されましたが、当時の石垣石は、その一部が外堀通りの下に保存されているほか、日比谷公園(烏帽子石)でも見ることができます。また、「江戸見附写真帖」で、明治初期のころの市ヶ谷橋の様子を伺い知ることができます。

参考文献

千代田区教育委員会「市ヶ谷橋」、「市ヶ谷御門橋台の石垣石」

(一社)千代田区観光協会●URL <http://www.kanko-chiyoda.jp/tabid/764/Default.aspx>

国立国会図書館デジタルコレクション「江戸見附写真帖」16/80ページ●URL <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/967160>



写真2 外堀通りからの眺め

